



R44/04
Group 0/ 0+ / 1 / 2 / 3
0 - 36 kg

COSATTO®
baby stuff with personality®

all in all Rotate

オールインオールローテート説明書

Group 0/0+/1/2/3 Car Seat



重要：今後の参照のために取扱説明書を大切に保管してください。

ユーザーガイド:

取扱説明書は、チャイルドシートと一緒に安全に保管してください。

カーシートの背面には、取扱説明書を保管するためのポケットがあります。

購入時にチャイルドシートがご利用の車両と適合性があることを確認することをお勧めします。

注意

- ・このチャイルドシートは、出生から36 kg（約12歳）までの全グループ0+、1、2、3のお子様を車で移動するのに安全認定されています。
- ・グループ0+で背面向きチャイルドシートとして使用する場合、出生時から最大13 kg（生後約15か月）までの使用に適しています。
- ・グループ1、2、3で前向きのチャイルドシートとして使用する場合、9 kg（約9ヶ月）から36 kg（約12歳）までの使用に適しています。

警告

- ・重要：お子様の体重が9 kgを超えるまでは前向きの姿勢を使用しないでください。
- ・このカーシートの側面を車両シートに向けて使用しないでください。
- ・このカーシートはエアバッグを装備した助手席では絶対に使用しないでください。
- ・チャイルドシートの金属部品やプラスチック部品が車両の日常的な使用中にシートや車両ドアに挟まらないように設置する必要があります。
- ・説明書に記載されている以外の荷重点を用いると、チャイルドシートの安全性が大幅に低下する可能性があります。
- ・このカーシートを使用するときは、常にお子様を安全ベルトで固定してください。

・お子様を絶対に放置しないでください。

・お子様のカーシートの下にタオルやクッションなどを置かないでください。

事故の際にチャイルドシートの性能に影響を与える可能性があります。

・車両用シートの背もたれにリクライニング機能がある場合、チャイルドシートを使用するときは、車両用シートを最も直立した位置にしてください。

・チャイルドシートを車両に固定するシートベルトはしっかりと締めてください。また、ベルトをねじらないでください。

・お子様を最大限に保護するために、チャイルドシートの安全ベルトと車両のシートベルトに緩みがないことを確認してください。

・安全ベルト/車両のシートベルトが車のドアの間に挟まれたり、シートやボディの鋭利な部分をこすったりしないようにします。

・安全ベルト/車両のシートベルトが切れたり、ほつれたりした場合は交換してください。

注意

- Cosattoが承認したものの以外の交換部品を使用しないでください。
- グループ2および3では、車両シートベルトの腰ベルトをお子様の骨盤を適切に固定するように着用してください。

警告

- チャイルドシートの解体、変更、改造を試みたり、車両のシートベルトの構造や使用方法を変更したりしないでください。
- 事故が発生した場合は、チャイルドシートと車両のシートベルトを交換する必要があります。無傷に見えても損傷で安全性が損なわれている可能性があります。
- 車以外ではチャイルドシートを使用しないでください。
家庭用に設計されていないため、車でのみ使用してください。

注意

- Cosattoは、チャイルドシートを中古品として売買しないことを推奨します。この方法で取得した多くのカーシートは危険であることがわかっています。
- チャイルドシートの使用により車両シートに跡が残る可能性があります。Cosattoは、車両のシートへの損傷または設置跡については責任を負いません。
- これらの指示に従って取り付けられている場合のみ安全性が保証されます。
- 衝突の際にお子様に怪我を引き起こす可能性のある荷物またはその他、衝突する可能性のある物を固定するか除去してください。
- 本説明書の内容に従わない場合は保証が自動的に無効となります。Cosattoはいかなる責任を負いません。
- 安全ベルトバックルは、緊急時にすぐに解放されるように設計されています。チャイルドブルーフではありません。お子様がバックルを外す可能性があります。お子様には安全ベルトのバックルやチャイルドシートの部品で絶対に遊ばないよう説明をしてあげてください。
- シートベルトの腰ベルト部分はお子様の骨盤がしっかりと固定されるように低く着用することが重要です。
- 本体カバーはチャイルドシートの性能に不可欠な部分であるため、カバーなしでチャイルドシートを使用しないでください。
カバーは、Cosattoが推奨するものの以外のもので交換しないでください。

Notice

Universal ISOFIXモード (グループ 1):

本製品はISOFIX 対応システムです。ヨーロッパ安全規則第44、04シリーズに則り、ISOFIXシステムを装備した一般車両での使用が認められています。

チャイルドシートと固定金具のカテゴリに応じて、ISOFIXと認定された車両（車両取扱説明書に記載）に適合します。

このデバイスが対象とする質量グループとISOFIXサイズクラスは、グループ1（9～18kg）、ISOFIXサイズクラスB1です。

その他

1. これは「Universal」子供保護装置です。規則No.44、04シリーズに則り、ISOFIXシステムを装備したほとんどの一般車両に適合します。
2. 車両メーカーの取扱説明書で、同年齢層の「Universal」チャイルドシートを設置できると記載がある場合は、適切な適合と思われます。
3. このチャイルドシートは、この説明を持たない、以前のデザインより厳しい条件の下で「Universal」として分類されています。
4. 承認された車両に3点安全ベルトが装備され、UN / ECE規則No.16または他の同等の規格に承認されている場合にのみ適しています。
5. エアバッグが取り付けられている座席位置では、このチャイルドシートを使用しないでください。
6. ご不明な点がございましたら、輸入元または販売元に相談してください。

メンテナンス

チャイルドシートを乾燥した安全な場所に保管してください。湿ったチャイルドシートを保管すると、カビの発生が促進されるため、湿った状態にさらした後は、柔らかい布で拭き取り、保管する前に完全に乾かしてください。

チャイルドシートを長時間日光にさらさないでください。

布地が退色する可能性があります。

損傷の兆候がないか、お子様のカーシートを定期的に点検してください。

損傷が見つかった場合は、製品の使用を中止してください。

掃除するときは、チャイルドシートを分解しないでください。不必要で危険です。

プラスチックおよび金属部品は、温水と中性洗剤できれいなスポンジで拭いてください。

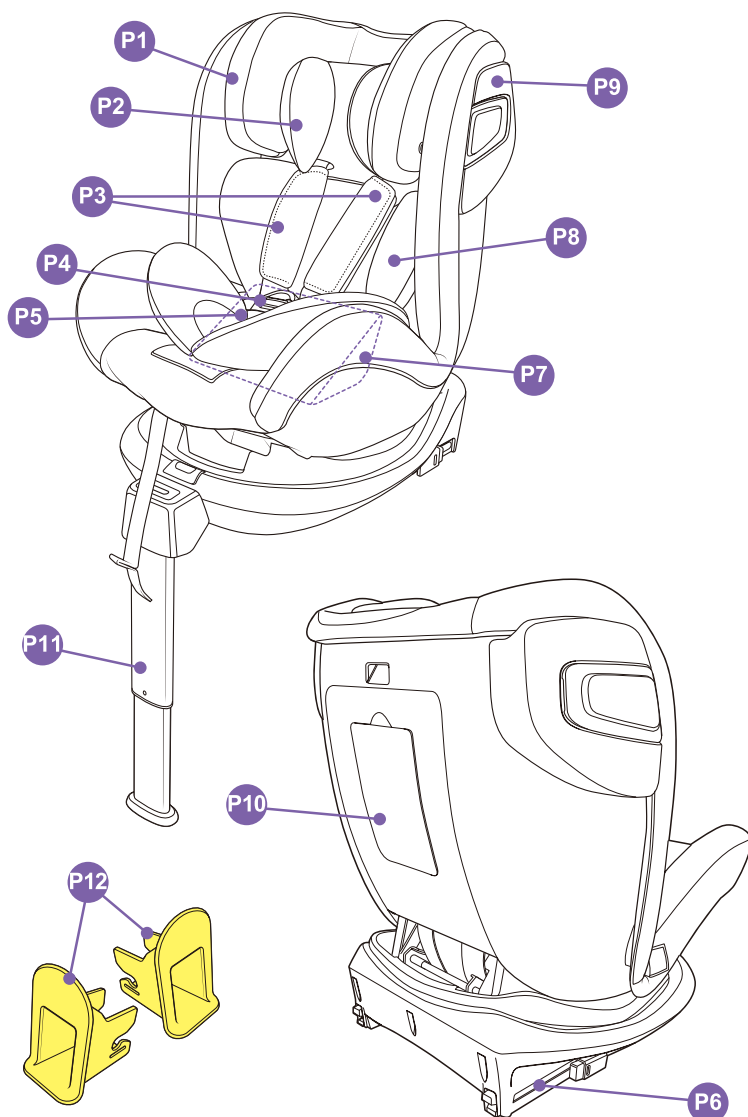
クリーニングの手順については、ソフトパーツのタグを参照してください。

清掃する前に、シートカバー/シートライナーからインサートを取り外します。

研磨剤、アンモニア系、漂白系またはアルコールタイプのクリーナーを絶対に使用しないでください。

説明書の動作は以下のマークをご参照ください。

	警告		X回繰り返す		押す
	正		方向矢印		確認
	誤		ロック		ステップXXへ続く
	「カチツ」		ロック解除		反対側も同様に



各部名称

P1：ヘッドレスト

P2：上部シートライナー

P3：チェストパッド（ペア）

P4：安全ベルト

P5：股パッドEN

P6：ISOFIXアーム

P7：インナークッション

P8：下部シートライナー

P9：側面衝撃保護ブロック

P10：収納コンパートメント

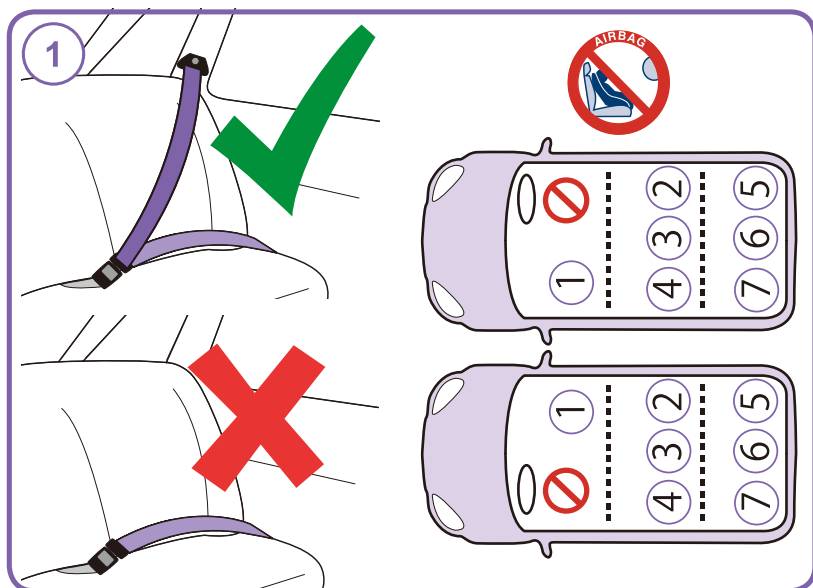
P11：サポートレッグ

P12：ISOFIXガイド

① 設置位置

重要

エアバッグが取り付けられていて座席ではカーシートを使用しないでください。
エアバッグの無効化については、車両のユーザーマニュアルを参照してください。

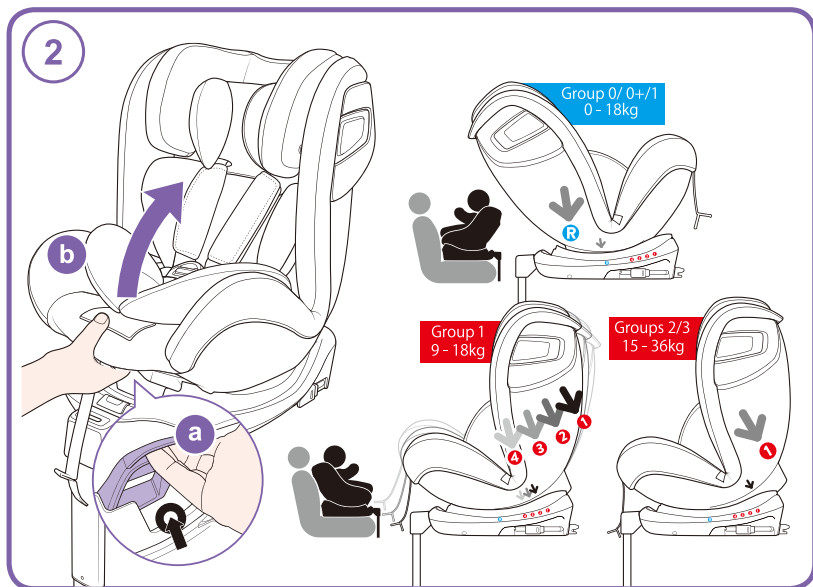


② 背もたれの調節

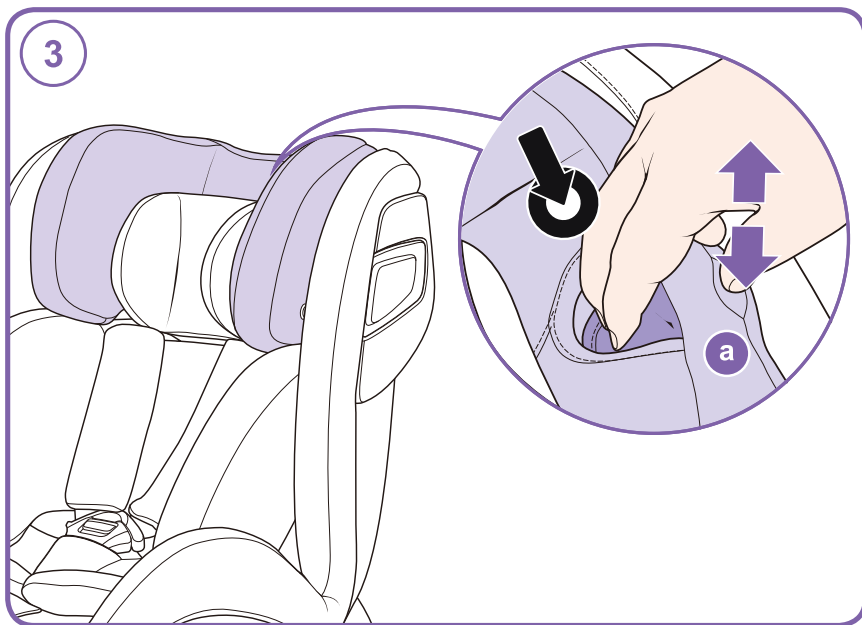
重要

各モードに対して適切なリクライニング位置で設置してください。

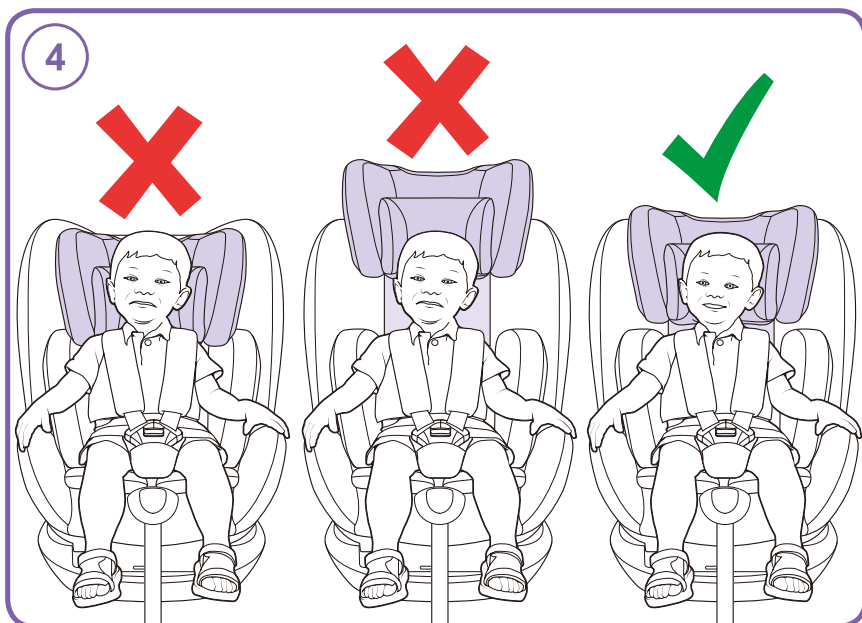
グループ 0+ (0kg ~ 13kg): ■ グループ 1 (9kg ~ 18kg) ■ グループ 2/3 (15kg ~ 36kg) : ■



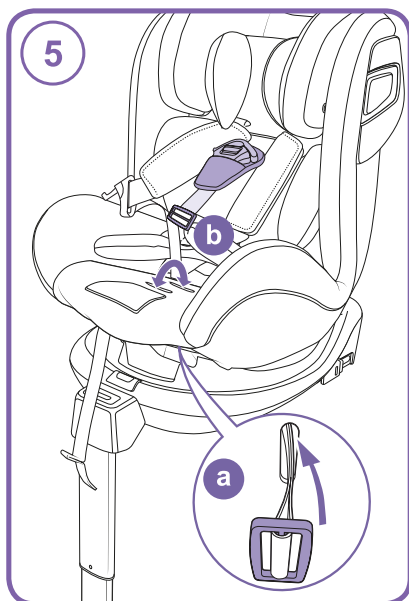
③ ヘッドレストの調節



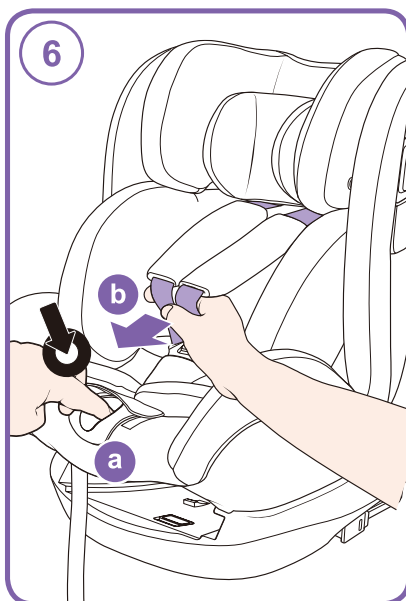
④ 最適なヘッドレスト位置



⑤ ベルトの調節



⑥ 安全ベルトのゆるめ方 肩ベルトのみを引っ張ってください。

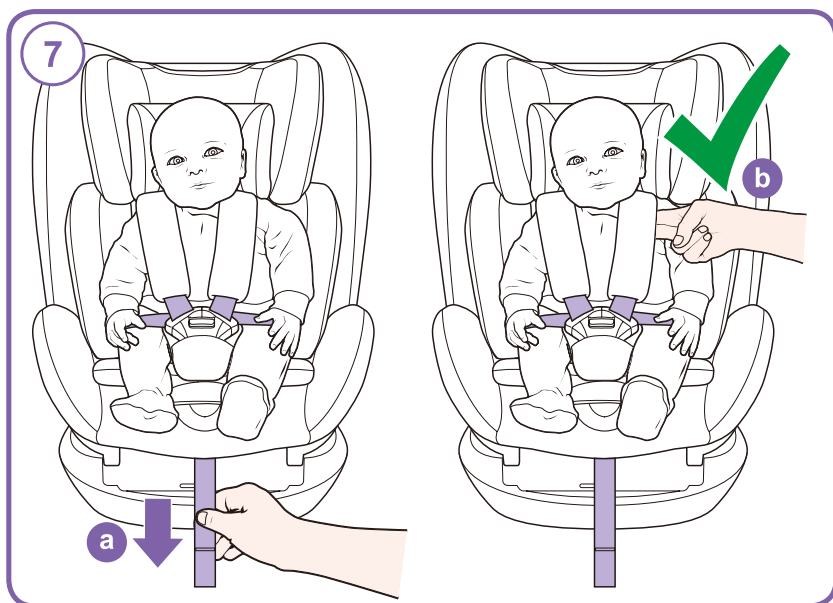


⑦ 安全ベルトの締め方

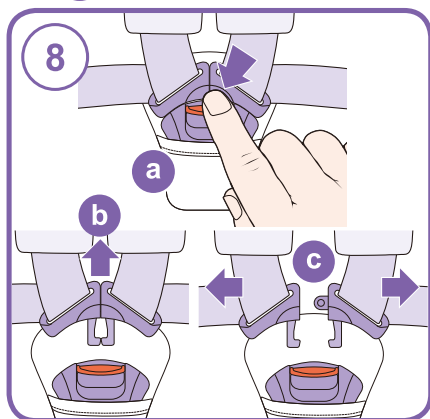
安全ベルトは適度にきつくなければなりません。

注意

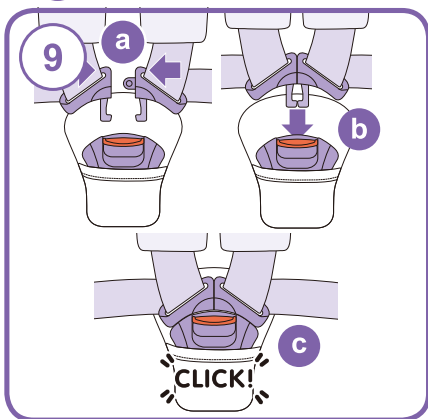
お子様をしっかり保護すべきですが、不快になるほどきつくしてはなりません。
お子様が座っている間、ストラップがねじれていないことを確認してください。



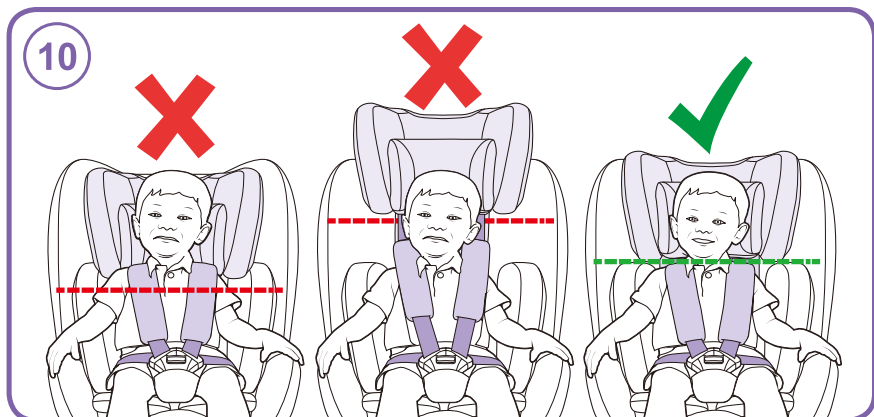
⑧ バックルの開け方



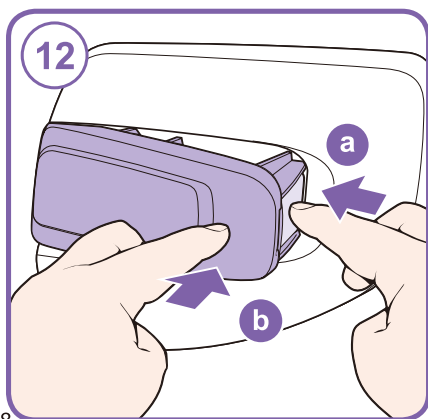
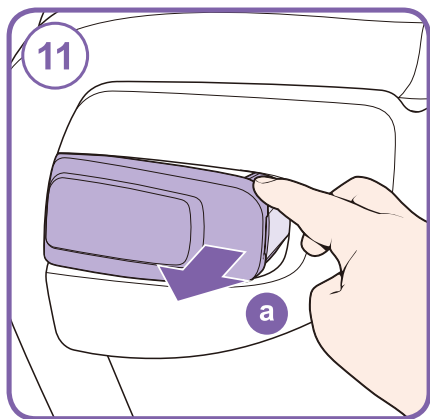
⑨ バックルの締め方



⑩ 最適なヘッドレストの位置

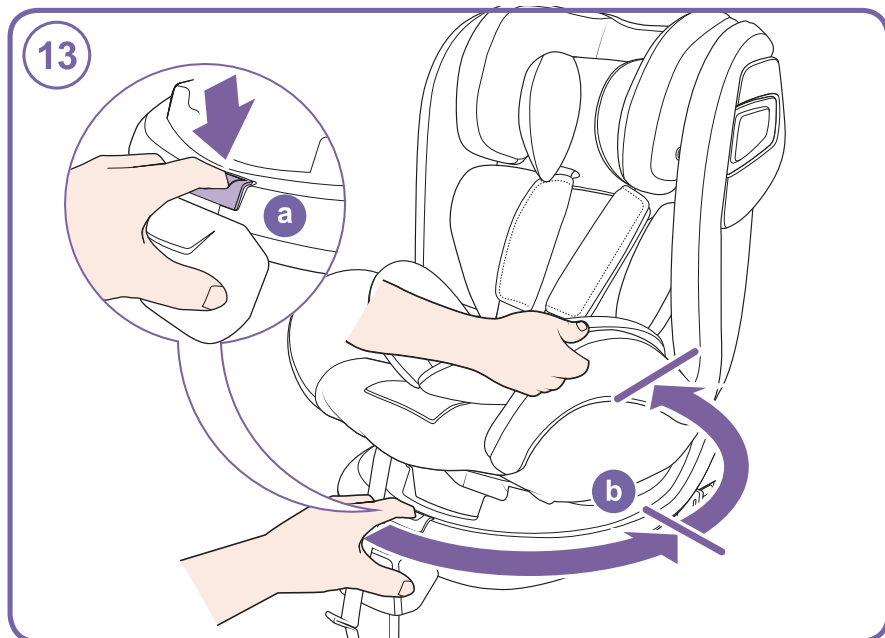


⑪ 側面衝撃保護ブロック開け方 ⑫ 閉じ方



⑬ 座席ユニットの向きの調整

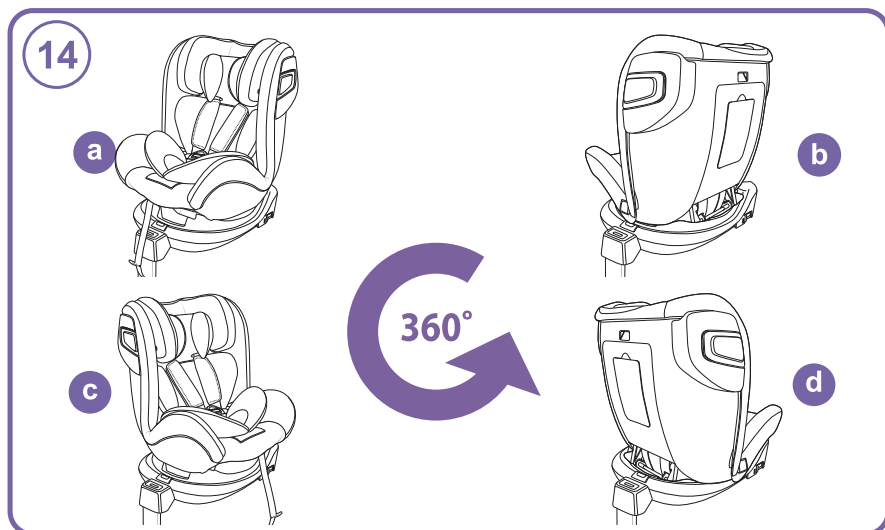
シート回転調整レバーを引きながら (a)、シートを回転させます (b)。



⑭ 座席ユニットの向きの調整

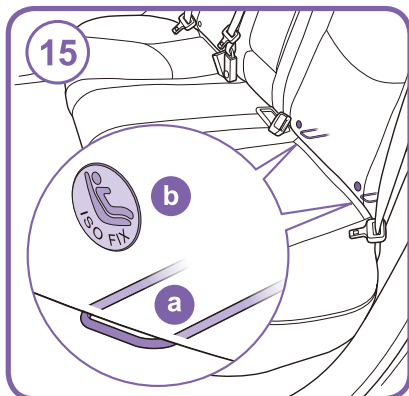
前向きチャイルドシートとして使用する場合、9 kg から最大 36 kg のお子様に適しています。重要：体重が 9 KG を未満のお子様は前向きにしないでください。

横向きの位置では、子供を座席ユニットに配置したり、座席ユニットから取り出したりすることができます。警告：座席ユニットを横向きにしたまま移動しないでください。背面向きにする場合、最大体重 18 kg までのお子様に適しています。



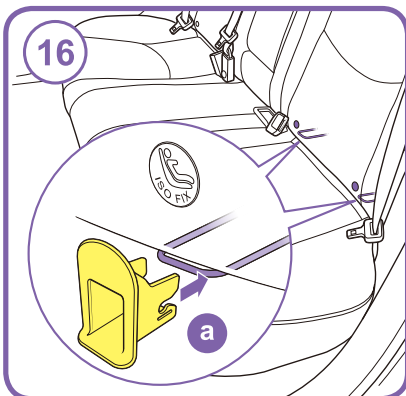
⑮ 設置位置

2つのISOFIX 固定アンカーポイントは、通常、車両のシートベースと背面の間にあります (a)。一部の車両には、ISOFIX の低定着アンカーポイントの近くにISOFIX インジケーターがあります (b)。



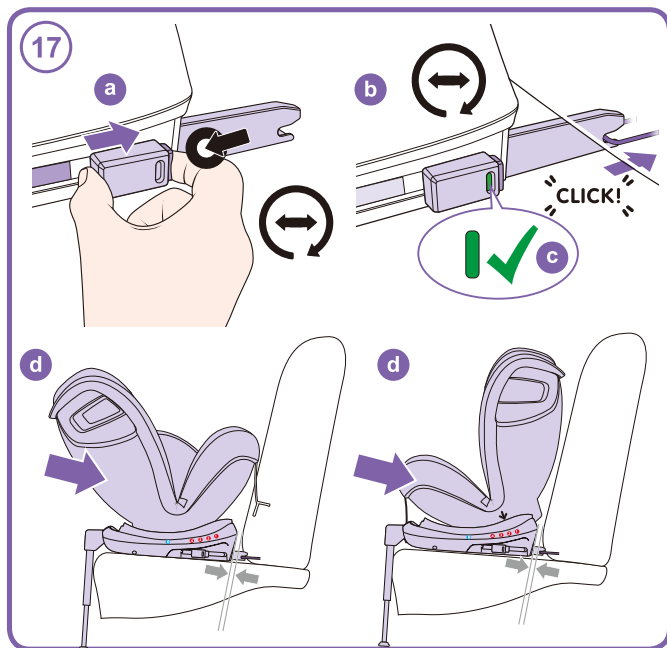
⑯ ISOFIXガイド(任意)

ISOFIX ガイドは、車両のISOFIX アンカーポイントを特定し、取り付けを容易にするのに役立ちます。また、車両のシートを保護するのにも役立ちます。ISOFIX ガイドを車両のISOFIX アンカーポイントに取り付けます (a)。



⑰ カーシートの設置

ISOFIX アーム調整ボタンを押したままにし、アームを完全に伸ばします (a)。ISOFIX アームをアンカーポイントに係合し (b)、ISOFIX アームのセキュリティインジケータが緑色になることを確認します (c)。ベースを車両シートの背もたれにしっかりと固定されるまで押しあてます (d)。取り外しは、逆の手順を行います。

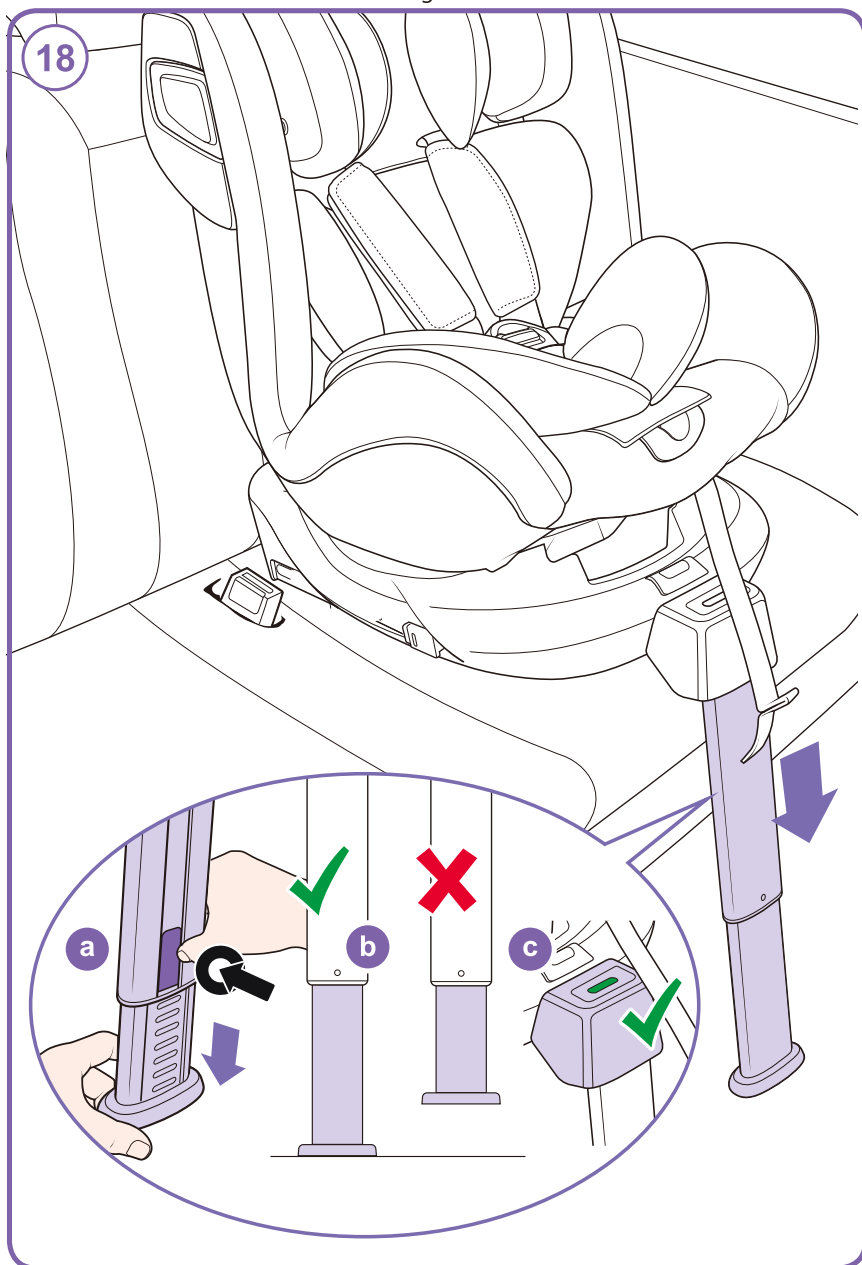


⑱ サポートレッグの固定

サポートレッグを完全に開きます (a)。

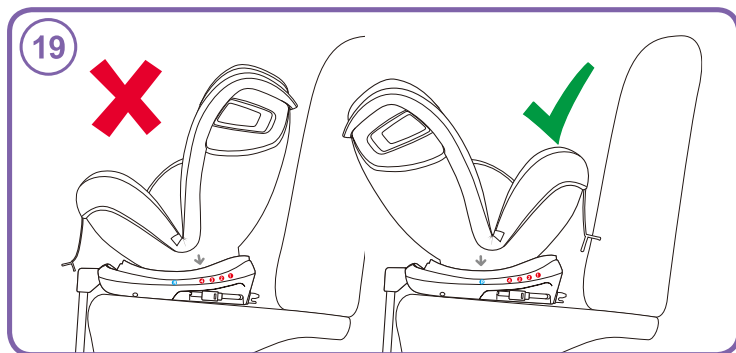
車両の床にしっかりと接触し (c)、支持脚の接触インジケーターが緑色 (d) になるまで、支持脚 (b) の長さを調整します。

背面向きは (グループ 0/0 + / 1) (最大 18kg、約 4 歳)



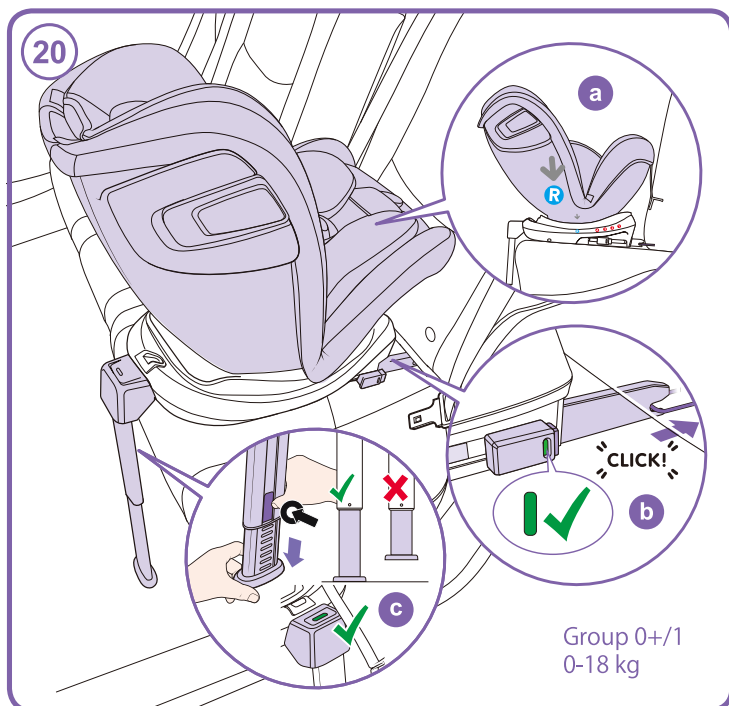
⑱ 新生児からの使用

Cosatto は、可能な限り長い間、カーシートを背面向きで使用することを推奨しています。
重要：エアバッグが取り付けられていて座席では、チャイルドカーシートを使用しないでください。ISOFIX オプション（ISOFIX 低アンカーポイントとサポートレッグを装備）（グループ 0/1、0-18kg）：



⑳ 設置の確認

シートユニットを後ろ向きに変換します（手順 13 を参照）。背もたれを R の位置にリクライニングします（手順 1 を参照）(a)。チャイルドシートを車両のシートに後方に向けて配置します。ISOFIX アームをアンカーポイントに取り付けます（手順 14 ～ 16 を参照）(b)。サポートレッグをかみ合わせます（ステップ 18 を参照）。取り外しは、逆の手順を行います。



②① サポートレッグ付きベルト（グループ0+、0-13kg）

チャイルドシートを背面向きにします（手順 13 を参照）。

背もたれを R の位置にリクライニングします（手順 1 を参照）。

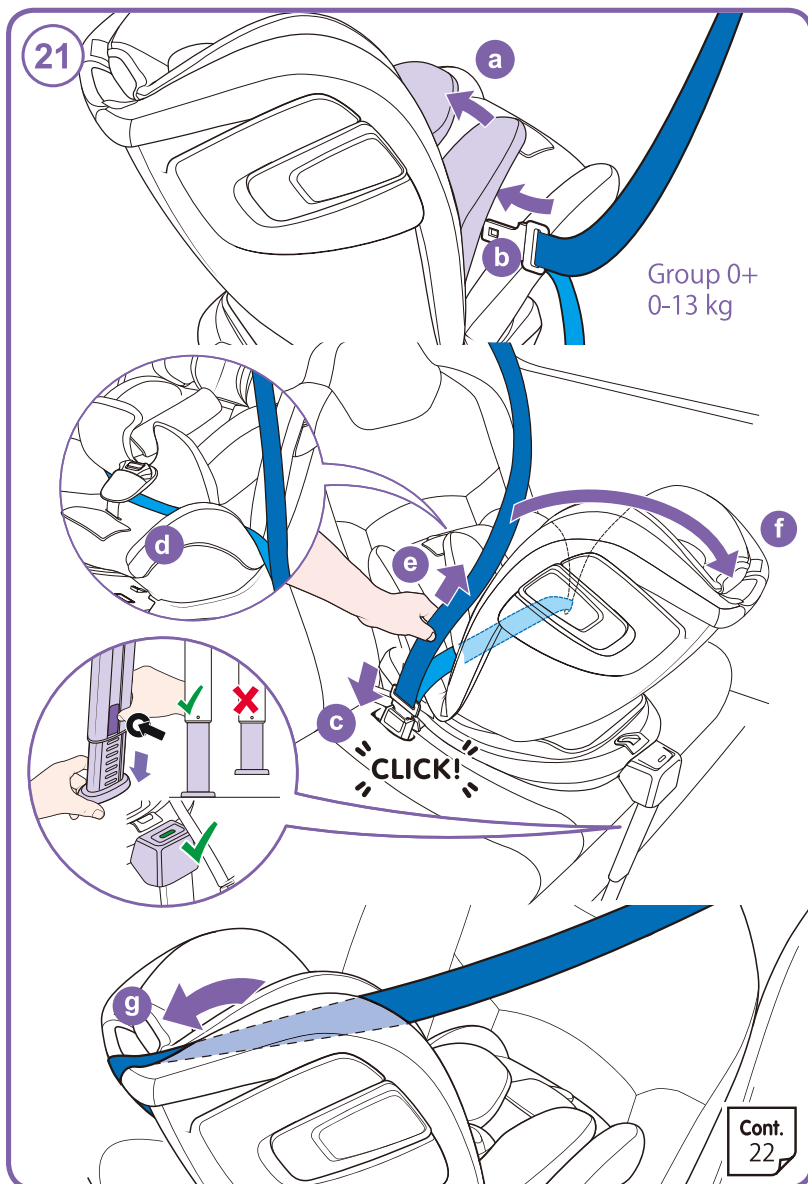
バックルを開け（手順 8 を参照）、下部シートライナーを持ち上げます（a）。

シートライナーの下にシートベルトを通し（b）、バックルを締めます（c）。

シートベルトはカーシートの安全ベルトの下に配置する必要があります（d）。

シートベルトに緩みがないように調節します（e）。

シートベルトの上部側をチャイルドシートの背もたれ（f、g）の後ろにかけます。



Cont.
22

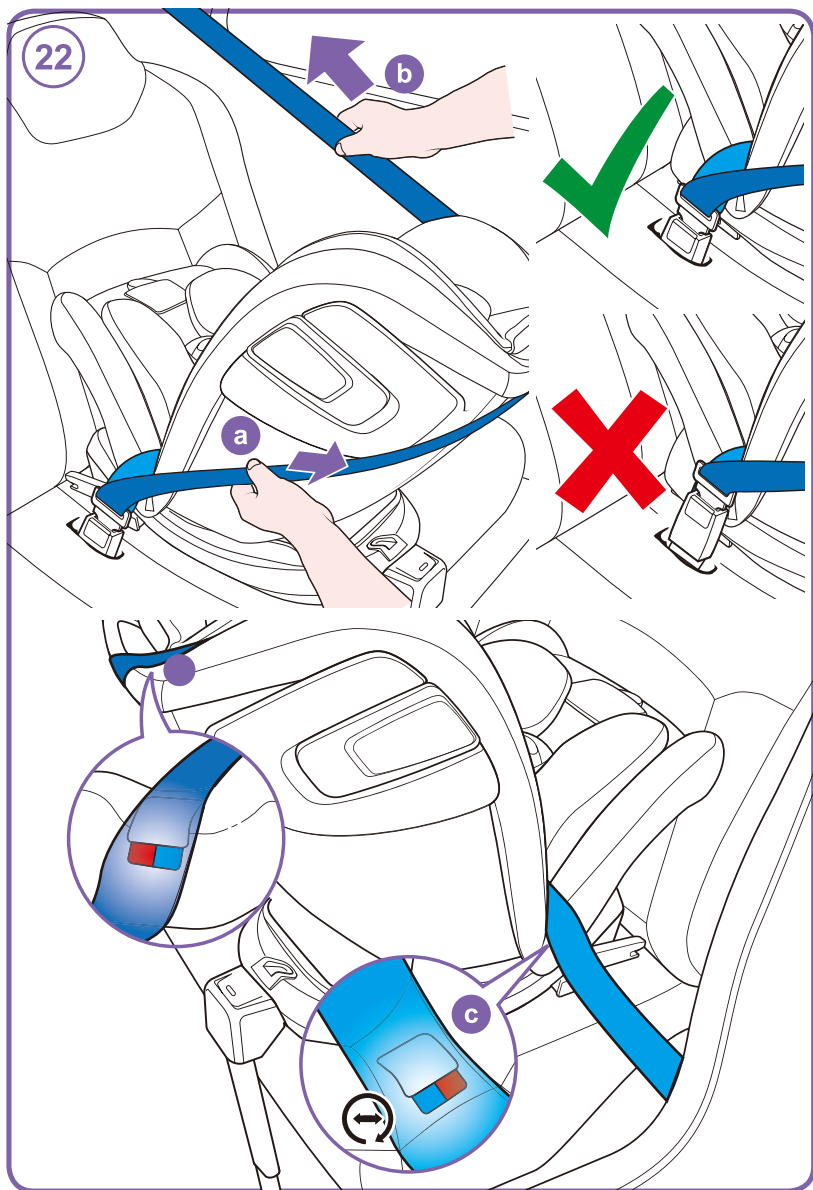
②② ヘッドレストの調節

シートベルト (a&b) に緩みがないようにします。正しく取り付けられている場合、シートベルトはチャイルドシートカバー (c&d) のベルトガイドマークを覆います。

重要: 車両バックル位置は、チャイルドシートの安定性に影響を与える可能性があります。

事故に際して、不適切な位置で締めている場合、お子様を保護する能力が損なわれます。

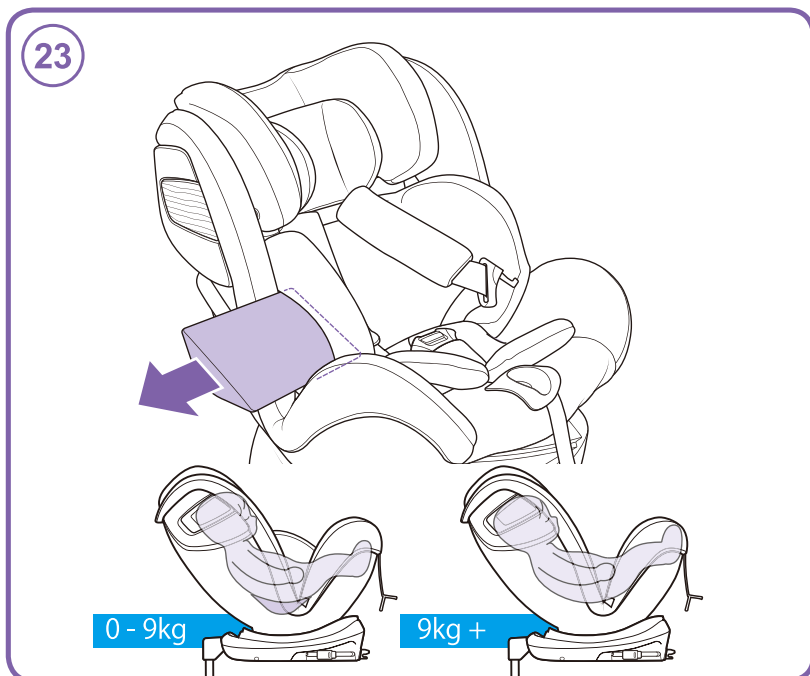
シートベルトを締めた後、バックルがマークされた位置にある場合、カーシートを車両の別の座席に取り付けてみてください。サポート脚が正しく設置されていることを確認してください。(ステップ 18 を参照)。取り外しは逆の手順を行います。



②③ インナークッション

お子様の体重が 9 kg 未満の場合、チャイルドシートをシートライナーとインナークッション共に使用する必要があります。

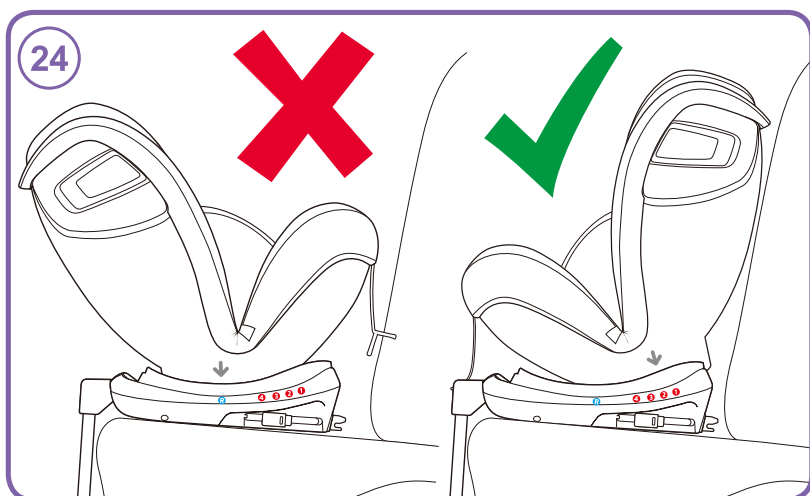
前向きモード（グループ 1）（9 から 18kg、約 9 ヶ月から 4 歳）



②④ インナークッション

重要

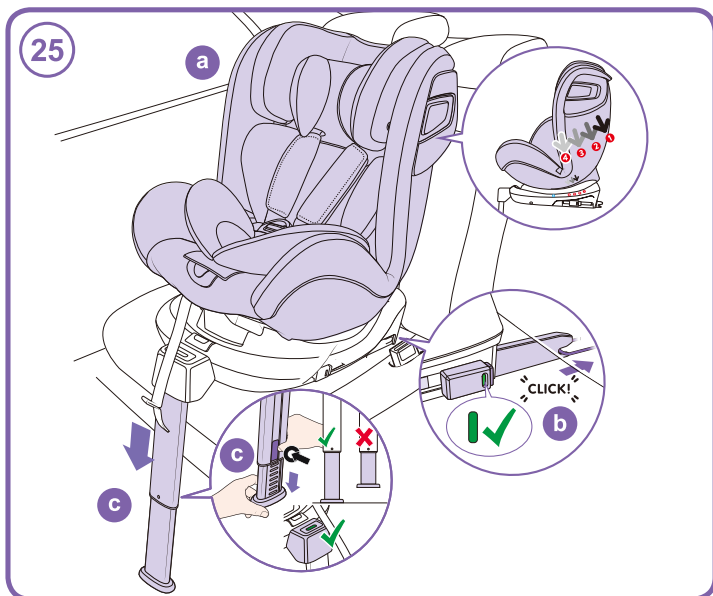
お子様の体重が 9 KG を未満の場合は前向きにしないでください。



②5 ISOFIXオプション (ISOFIXアンカーポイントとサポートレッグの取り付け)

チャイルドシートを前向きに変換します（手順 13 を参照）。

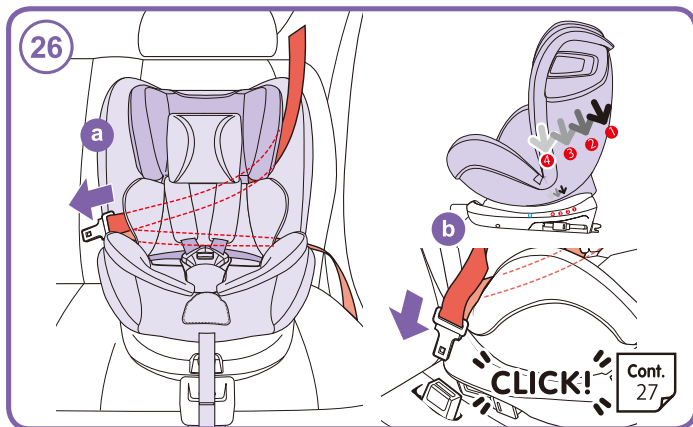
背もたれを位置 1、2、3、または 4 にリクライニングします（手順 1 を参照）。チャイルドシートを前向きに配置します (a)。ISOFIX アームをアンカーポイントに取り付けます（手順 14 ～ 16 を参照）(b)。ISOFIX 上部テザーストラップクリップをアンカーポイントに取り付けます（手順 17 ～ 20 を参照）(c)。サポートレッグを固定します（ステップ 18 を参照）。



②6 シートベルトを使用する場合

チャイルドシートを前向きに変換します（手順 13 を参照）。

背もたれを位置 1、2、3、または 4 にリクライニングします（手順 1 を参照）。チャイルドシートを前向きに配置します。シートライナーの後ろ (a) シートベルトを通し、バックルをはめ込みます (b)。

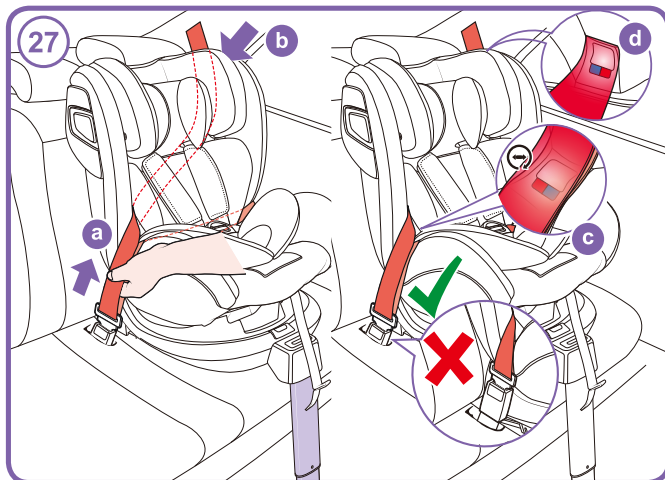


27

シートベルトに緩みがないようにします (a)。ヘッドレストと背もたれの間にシートベルトを通します (b)。正しく取り付けられている場合、シートベルトはチャイルドシートカバー (c&d) のベルトガイドマーキングを覆っています。

重要

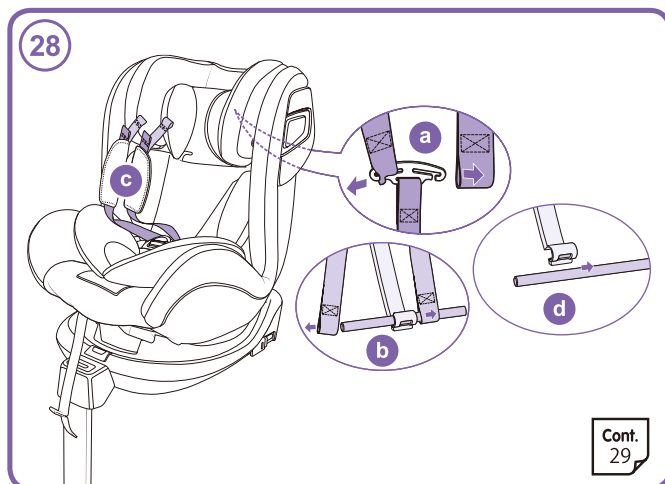
車両バックル位置は、チャイルドシートの安定性に影響を与える可能性があります。事故に際して、不適切な位置で締めている場合、お子様を保護する能力が損なわれます。シートベルトを締めた後、バックルがマークされた位置にある場合、カーシートを車両の別の座席に取り付けてみてください。サポートレッグが正しく設置されていることを確認してください。(ステップ 18 を参照)。取り外しは逆の手順を行います。



28

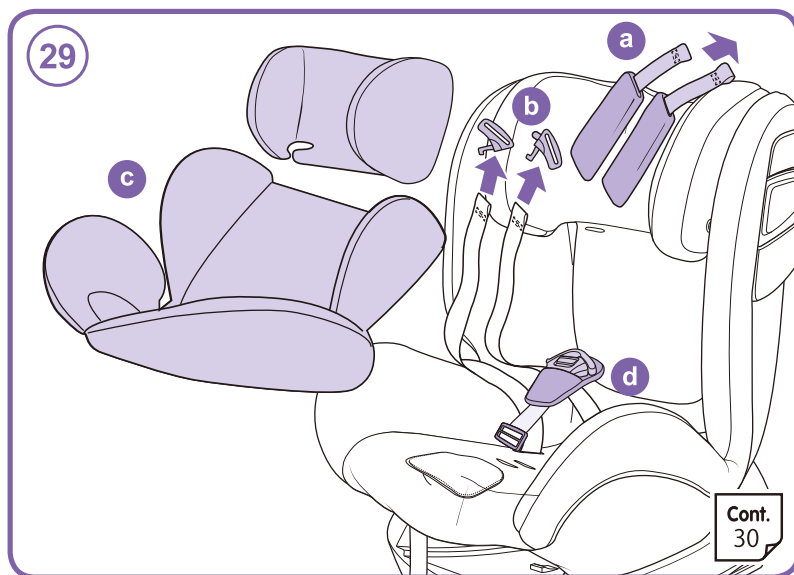
グループ2/3 (15~36kg、約4~12歳) 前向き

背もたれ後ろの固定金具から肩ベルトを外します (a)。チェストパッドとショルダーストラップのコネクターを外し (b、c)、シートの前面から引き離します (d)。チェストパッドコネクタ (e) を取り外します。

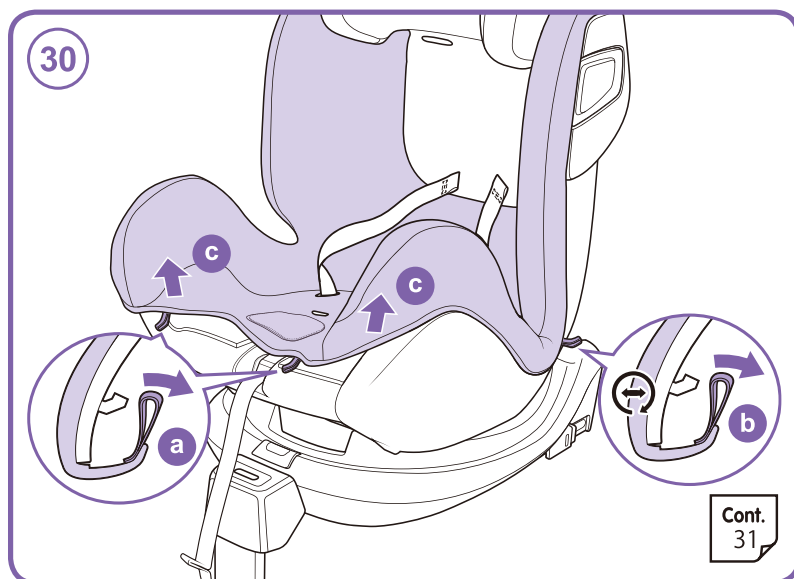


Cont.
29

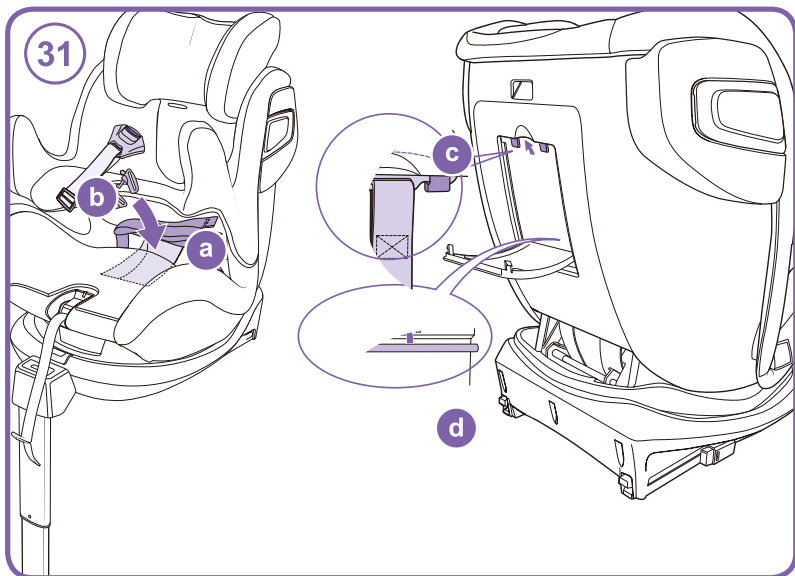
- 29** バックルを開けます。(手順 8 を参照)
チェストパッド (a)、バックルクリップ (b)、ライナー (該当する場合、c) およびバックル (d) を取り外します。



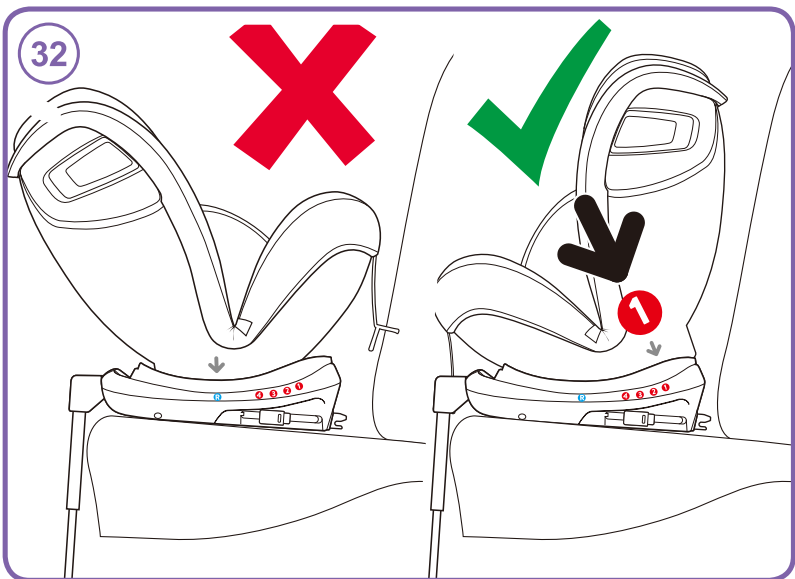
- 30** チャイルドシートのフック (a) と側面 (b) からカバーを外します。
シートカバーの前面を持ち上げます (c)。



- 31** 図のように、バックルクリップ (a)、バックル (b)、コネクタ (c)、コネクタ (b) をシート収納ポケットに保管します。胸パッド、股パッド、ライナーは将来の使用に備えて保管してください。背面ドアを閉じて、シートカバーを取り付けます。



- 32** **重要** お子様の体重が 9 KG 未満の場合は、前向きにしないでください。

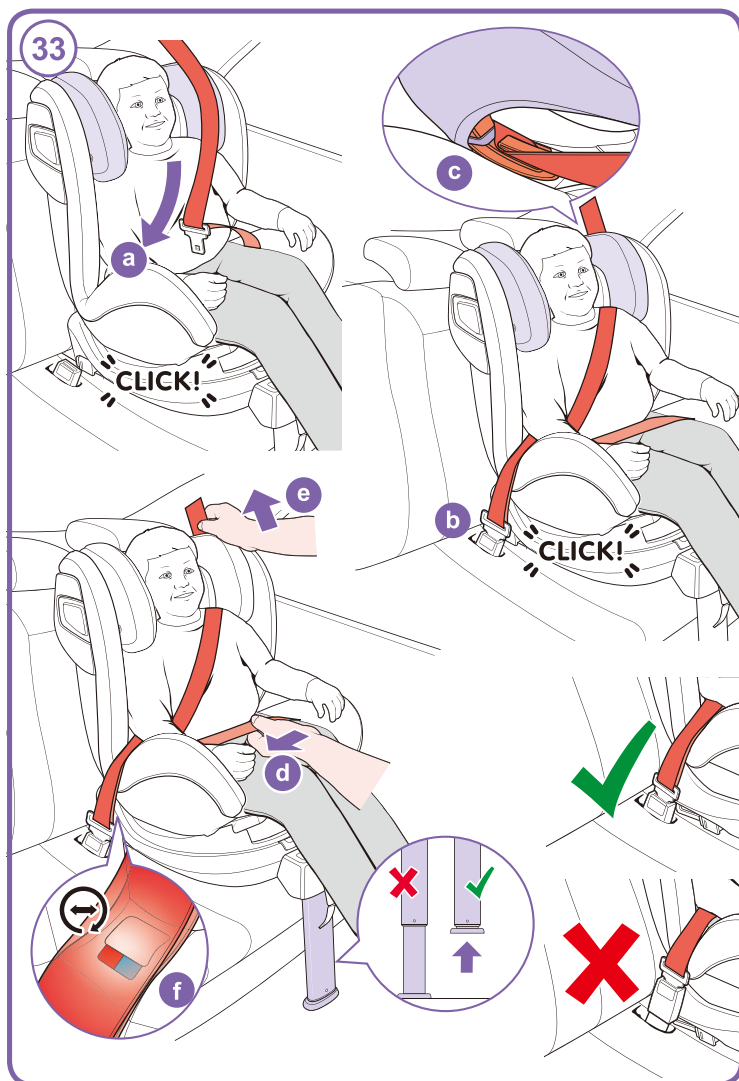


33

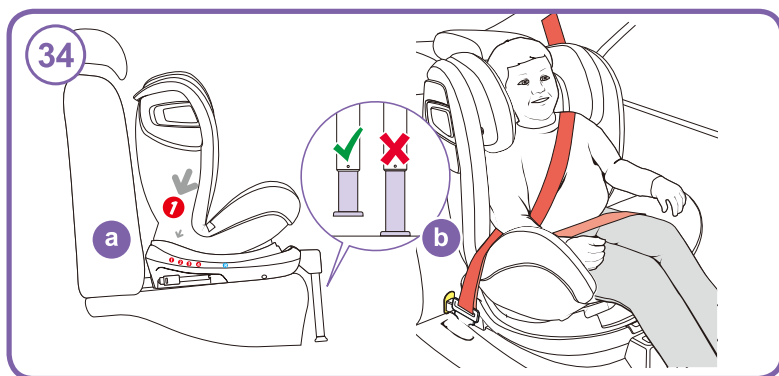
チャイルドシートを前向きにします（手順 13 を参照）。背もたれを 1 の位置にリクライニングします（手順 1 を参照）。チャイルドシートを前向きに配置します。お子様をチャイルドシートに乗せます。シートベルトを引き出し (a)、バックルを締めます (b)。シートベルトをヘッドレストのベルトガイド (c) に通します。シートベルトに緩みがないことを確認します (d&e)。正しく取り付けられている場合、シートベルトはチャイルドシートカバーのベルトガイドマーキングを覆います (f)。

重要

シートベルトのバックル位置は、チャイルドシートシステムの安定性に悪影響を与える可能性があります。バックルが引き出された状態だと、お子様の保護を妨げる可能性があります。シートベルトを締めた後、バックルがマークされた位置 (X) にある場合、車両の別の着座位置にチャイルドシートシステムを取り付けてみてください。取り外しは、逆の手順を行ってください。

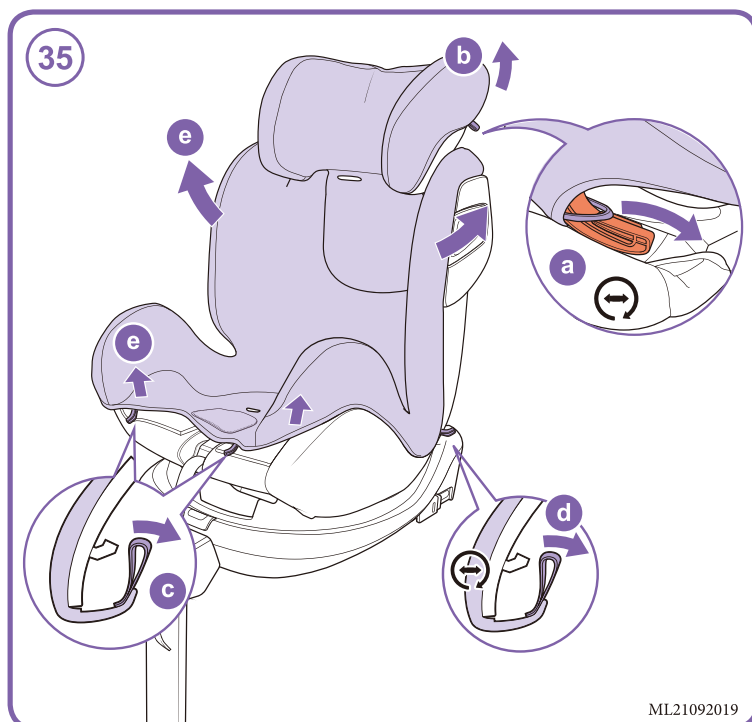


- ③⑥ チャイルドシートを前向きにします（手順 13 を参照）。
ISOFIX アームをアンカーポイントに取り付けます（手順 14 ～ 16 を参照）（a）。
お子様を乗せ、シートベルトを締めます（手順 33 を参照）（b）。



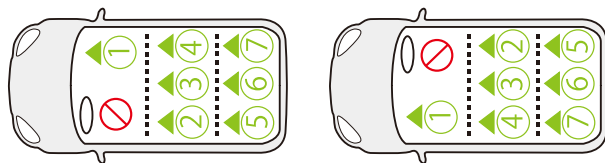
③⑦ ソフトパーツの取り外し

取り付けられている場合は、チェストパッド、シートライナー、バックル、および股パッドを取り外します（手順 28 ～ 30 を参照）。ヘッドレストの両側のゴムループを外します（a）。ヘッドレストカバーを取り外します（b）。チャイルドシートのフック（c）と側面（d）を外します。シートカバーを取り外します（e）。取り付けは上記の逆の手順を行います。



ML21092019

• 下の車両図の番号は、車両のフィッティングリストに記載されている座席位置に対応しています。



- チャイルドシートを取り付けることができる場合、適切な座席位置に●マークが付きます。
- チャイルドシートを取り付けることができない場合、適切な座席位置に○マークが付きます。
- 電気自動車またはハイブリッド車には⚡マークが付きます。
- i-Sizeの車両には👤マークが付きます。
- 床下収納コンパートメントを備えた車両にはSB!マークが付きます。
-このチャイルドシートをこれらの車両に取り付ける前に、車両のハンドブックを参照してください。
- チャイルドシートの前方への設置を制限する可能性のあるキャビンルーフの高さの車両には、!マークが付きます。

• 他の車両の座席位置も、チャイルドシートを受け入れるのに適している場合があります。疑わしい場合は、Cosattoまたは小売店に相談してください。車両を購入する前に、適切なアンカーが装備されていることを確認してください。常に後部座席を優先してください。



エアバッグが装備されている車両シートにチャイルドシートを設置しないでください。エアバッグが無効になっている場合を除きます。

AIRBAGシステムが有効になっていると、死亡または重傷を負う可能性があります。

この車両適合性リストは、科学データに基づいて慎重に作成されました。

Cosattoは、リストの不正確さに関して一切の責任を負いません。

これは、ガイダンスのみを目的としています。

- チャイルドシートを購入前に車両と互換性があるか確認することをお勧めします。